

よもぎた 議会だより

議会を傍聴しませんか
次の定例会は
3月3～6日開催予定です

第224号(令和8年2月4日発行)



中学生議会を開催

11月21日、中学生議会を初めて開催しました。
一人ひとり、緊張を見せることなく活発に意見を
交わしていました。

目次

- 物価高騰対策関係の補正予算等を可決 第4回定例会・・・P 2
- あなたの声を村政に 一般質問 5議員・・・P 6
- 蓬田村中学生議会・・・・・・・・・・・・P15
- 議員の主な活動・・・・・・・・・・・・P20

U R L <https://www.vill.yomogita.lg.jp/sonsei/gikai/>
E-mail yomo-gikai01@vill.yomogita.lg.jp

●発行/青森県蓬田村議会 ●編集/議会広報編集委員会 〒030-1212 青森県東津軽郡蓬田村大字阿弥陀川字汐干126番地1/TEL 0174-27-2111



令和7年 第4回 定例会

物価高騰対策関係の 補正予算等を可決



第4回定例会が、12月3日から5日の3日間開催されました。

追加提案、発議案を含め、条例の改正、補正予算などの議案12件を審議し、すべて原案どおり可決されました。

主な補正予算

■一般会計

・国民年金システム改修業務委託料 40万円

令和7年度の税制改正に対応するため。

・保健衛生総務費 消耗品費

・一般備品購入費
あわせて41万円

健康増進に関する連携協定を締結している明治安田

生命より、「私の地元応援募金」としていただいた寄付

金を財源に、住民健診で必

会計名	補正金額	予算総額
一般会計	4,399万円	47億4,562万円
特別会計		
学校給食センター	318万円	3,732万円
介護保険	204万円	5億3,101万円
後期高齢者医療保険	790万円	1億504万円

(千円単位四捨五入)

要な扇風機や電工ドラム等を購入するため。

・蓬田村ふれあいセンター指定管理料 313万円

物価高騰、最低賃金の引き上げ等の影響により、給

与手当、燃料費、租税公課、保守、維持費が不足したため。

・よもぎた物産館マルシェ指定管理料 385万円

物価高騰、最低賃金の引き上げ等による指定管理

料の増額要望に対応するため。

・住宅管理修繕料 350万円

冬期間増加が想定される、宮本団地の給湯器、I

Hヒーターの修繕に対応するため。

・小学校修繕料 137万円

ブランコのつりロープ、音楽室のカーテン、3年

生の教室の黒板の修繕のため。

・小学校校舎等ワックスがけ委託料 25万円

・小学校備品購入費 71万円

給食が学校に到着してから食べるまでの間冷蔵が必

要なものを入れる冷蔵庫を買い替えるため。

・中学校修繕料 67万円

中学校の放送設備の防火扉のヒンジ調整のため。

・ふるさと総合センター給湯・暖房用真空ボイラー交換工事費 1777万円

ふるさと総合センターの暖房給湯用シンクボイラー

2台のうち、不具合のある1台を交換するため。

■学校給食センター

・修繕料 45万円

・賄材料費 75万円

食材価格の高騰により、予算が不足する見込みとなつたため。

■介護保険

・介護保険システム改修委託料 182万円

・介護予防サービス計画給付費負担金 22万円

■後期高齢者医療保険

・後期高齢者医療広域連合保険料等納付金 505万円

・後期高齢者医療保険料 212万円

主な質疑

Q (川崎議員) マルシェの指定管理料

について。

当初予算の665万円に加えて300万の追加は当初予算の半分に近いが、最初の計画がかなり甘かったということか。

A (高田産業振興課長) 率直に申し上げると、計画が甘かったという結論になると思う。

条例改正

■蓬田村修学奨励金貸与基金条例の一部を改正する条例

例 蓬田村修学奨励金貸与事業の制度拡充を図る。

・対応対象者に大学院生も対象とする。

・貸与金額は、月額2万円、3万円、4万円のいずれかの額を選択できる。

・奨励金の返還は、1年分、半年分に加えて毎月を選択肢も増やした。

Q (川崎議員) 青森農業協同組合に指定管理を委託して蓬田村ライスセンターについて。

ふれあいセンター、カントリパーク、物産館などは指定管理料が出ているが、ライスセンターについては指定管理料は出ていないということでしょうか。

A (産業振興課長) ライスセンターの指定管理料は発生していない。

Q (川崎議員) 今年度から新ライスセンターとして稼働したが、北棟のライスセンターは近年修理等がかかっていると思うが、行政の負担はあるのか。

A (産業振興課長) 北棟の方もこれから計画をし、機器等の整備をする予定となっている。

A (八木澤教育課長) まずこの内容で改正をし、免除についてはその後対応していきたい。

人事案件

■蓬田村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

任期が満了したため、再任について同意を得た。

任期は令和8年1月1日、令和10年12月31日。

越田茂弘さん (瀬辺地)

久慈和寛さん (青森市)

請願

■高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める請願

(坂本豊議員 提出) 採択(賛成5 反対2)

■「再審法改正(刑事訴訟法の一部改正)をもとめる意見書」を国へ提出することを求める請願

(坂本豊議員 提出) 採択(賛成6 反対1)

意見書

■高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める意見書

可決(賛成6 反対0) ※1名欠席

■再審法改正(刑事訴訟法の一部改正)を求める意見書

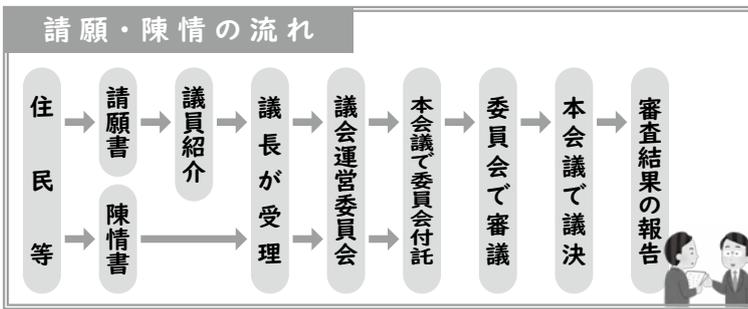
可決(賛成6 反対0) ※1名欠席

陳情

■資料配布

臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情(一般社団法人 中国における臓器移植を考える会)

たい。



令和7年 第3回臨時会 (11月28日開催)

条例改正

- 蓬田村議会議員の議員報酬及び費用弁償額等に関する支給条例の一部を改正する条例案
- 蓬田村特別職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案
- 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例案
- 蓬田村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案
- 青森県人事委員会勧告に準じた給料月額、期末手当、勤勉手当などを改めた。

補正予算

- 一般会計(専決)
 - ・ふるさと納税記念品システム利用料、代行サービス業務委託料 144万円
 - ふるさと納税寄附金の増額に伴う計上。
 - ・ふるさと応援基金 7600万円

会計名	補正金額	予算総額
一般会計(専決)	1億744万円	46億8,496万円
一般会計	1,668万円	47億163万円
特別会計		
学校給食センター	7万円	3,414万円
国民健康保険	77万円	4億8,320万円
介護保険	60万円	5億2,897万円
後期高齢者医療保険	19万円	9,715万円
事業会計		
簡易水道	61万円	1億321万円

(千円単位四捨五入)

- 一般会計 1668万円
- 学校給食センター特別会計 7万円
- 国民健康保険特別会計 77万円
- 介護保険特別会計 60万円
- 後期高齢者医療保険特別会計 19万円
- 簡易水道事業会計 61万円
- 最低賃金の引上げ及び、青森県人事委員会の勧告に準じ、報酬、給与月額、期末勤勉手当を改正した。

令和7年 第4回臨時会 (12月19日開催)

主な補正予算

- 一般会計
 - ・エネルギー価格高騰対応 支援助成事業費
 - エネルギー価格等の物価高騰のため、冬季における灯油や電気料等の負担軽減対策として計上。
 - 317万円
 - ・物価高対応子育て応援手当給付事業費 548万円
 - 長期化する物価高の影響の影響を受けている子育て世帯を支援するため、児童手当の支給対象児童(高校生生まで)に、1人当たり2万円を支給する。
 - ・配布用教育冊子作成委託料 301万円
 - 小中学校の全児童生徒に配布する家庭学習用のハンドブックを令和8年度早々に配布するため計上。

令和8年 第1回臨時会 (1月21日開催)

主な補正予算

- 一般会計
 - ・物価高騰対策入学準備金 350万円
 - 蓬田小・中学校に入学する子どもの世帯に、1人あたり10万円を支給するため。
 - ・ホタテ養殖事業物価高対策支援金 900万円
 - ホタテガイ養殖残渣堆肥処理施設運営費の漁家・村漁協の負担軽減のため。
 - ・新成人記念品 105万円
 - 蓬田紳装製のスーツを新成人への記念品とするため。
 - ・高校入学準備金 250万円

人事案件

- 蓬田村教育委員会教育委員の選任につき同意を求めることについて
- 清水淳範さん(蓬田)の教育委員任命に同意した。任期は令和8年1月21日、令和10年12月16日。

一目でわかる審議内容と結果

○：賛成 ×：反対

	件名(主な内容)	議決結果	賛成：反対	議員名								
				小鹿重一	柿崎裕二	坂本豊	久慈省悟	川崎憲二	森弘美	吉田勉	乳井巖公	
第3回臨時会	報告第15号	令和7年度蓬田村一般会計補正予算(第5号)の専決処分について	可決	6:0	-	○	欠席	○	○	○	○	○
	議案第49号	蓬田村議会議員の議員報酬及び費用弁償額等に関する支給条例の一部を改正する条例	可決	6:0	-	○	欠席	○	○	○	○	○
	議案第50号	蓬田村特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	6:0	-	○	欠席	○	○	○	○	○
	議案第51号	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	認定	5:1	-	○	欠席	×	○	○	○	○
	議案第52号	蓬田村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	認定	6:0	-	○	欠席	○	○	○	○	○
	議案第53号	令和7年度蓬田村一般会計補正予算(第6号)	認定	5:1	-	○	欠席	○	○	○	○	○
	議案第54号	令和7年度蓬田村学校給食センター特別会計補正予算(第2号)	認定	5:1	-	○	欠席	○	○	○	○	○
	議案第55号	令和7年度蓬田村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	認定	5:1	-	○	欠席	○	○	○	○	○
	議案第56号	令和7年度蓬田村介護保険特別会計補正予算(第3号)案	認定	6:0	-	○	欠席	○	○	○	○	○
	議案第57号	令和7年度蓬田村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	6:0	-	○	欠席	○	○	○	○	○
議案第58号	令和7年度蓬田村簡易水道事業会計補正予算(第3号)案	可決	6:0	-	○	欠席	○	○	○	○	○	
第4回定例会	議案第59号	蓬田村修学奨励金貸与基金条例の一部を改正する条例	可決	7:0	-	○	○	○	○	○	○	○
	議案第60号	蓬田村公の施設の指定管理者の指定について	可決	7:0	-	○	○	○	○	○	○	○
	議案第61号	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について	可決	7:0	-	○	○	○	○	○	○	○
	議案第62号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について	可決	7:0	-	○	○	○	○	○	○	○
	議案第63号	令和7年度蓬田村一般会計補正予算(第7号)	可決	6:0	欠席	-	○	○	○	○	○	○
	議案第64号	令和7年度蓬田村学校給食センター特別会計補正予算(第3号)	可決	6:0	欠席	-	○	○	○	○	○	○
	議案第65号	令和7年度蓬田村介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決	6:0	欠席	-	○	○	○	○	○	○
	議案第66号	令和7年度蓬田村後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	可決	6:0	欠席	-	○	○	○	○	○	○
第4回臨時会	議案第67号	蓬田村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	可決	7:0	-	○	○	○	○	○	○	○
	議案第68号	蓬田村教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	可決	7:0	-	○	○	○	○	○	○	○
	発議案第3号	高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める意見書	可決	7:0	-	○	○	○	○	×	×	○
	発議案第4号	再審法改正(刑事訴訟法の一部改正)を求める意見書	可決	7:0	-	○	○	○	○	×	○	○
	議案第69号	令和7年度蓬田村一般会計補正予算(第8号)	可決	7:0	-	○	○	○	○	○	○	○
第1回臨時会	議案第1号	令和7年度蓬田村一般会計補正予算(第9号)案	可決	7:0	-	○	○	○	○	○	○	○
	議案第2号	蓬田村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	可決	7:0	-	○	○	○	○	○	○	○



議長は、賛成と反対が同数のとき以外は採決に加わらないため「-」と表示しています。

あなたの声を村政に

令和7年 第4回定例会

一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、村長などに方針を問うものです。議員1人当たりの質問回数は1つの質問につき3回までです。

ページ	質問事項	質問議員
7～8	<ol style="list-style-type: none"> 1. 村長の施策方針（第三セクター）の内容は 2. デジタル技術を活用した基盤強化とは 3. 村営住宅の具体的な構想は 	吉田 勉
9	<ol style="list-style-type: none"> 1. 粗大ゴミの回収回数を増やせないか 2. 除雪出発地点は2か所になるのか 	乳井厳公
10～11	<ol style="list-style-type: none"> 1. 航空防除への助成について 2. クマ対策について 3. 牧場へのソーラーパネル設置について 4. 中学生の制服について 	坂本 豊
12～13	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緊急銃猟マニュアルはあるのか 2. よもぎたアシストへの委託事業について 	久慈省悟
14	<ol style="list-style-type: none"> 1. 旧役場庁舎の解体とその後の利活用について 2. 蓬田中央公民館の解体と蓬田村水産物処理加工施設の今後の取り扱いについて 	柿崎裕二



よし た つとむ
吉田 勉 議員

全文はこちら



施策方針（第三セクター）の内容は

（村長）効率の良い体制をつくりたい

Q 経営悪化に陥って
いる第三セクター
は、最低賃金が上がったこ
とによりさらに経営が厳し
くなるが見通される。

施策方針では組織体系を
見直すということだが、ど
のように考えているのか。

A （八戸村長）現
在、第三セクター
は2社あり、両企業とも現
在のところ、赤字が見えら
り、いろいろ補助をもらい
経営している。

蓬田紳装に関しては、経
営の体系・体制の改革は、
大きく変えることは難しい
と思っている。職員の話
聞き取り、効率のよい体制
をつくりたい。
また、現在専務の方を置
いておらず、内部の者で回
している。御幸毛織の方、
今の工場長、上部管理者の

方と話をし、税理士の助言
もいただきながら、専務を
任せる方を慎重に選び、組
織の見直しを図りたい。

よもぎたアシストについ
ては、職員の数が少ないの
で、業務を受けている内容
も見ながら、ある人員で賄
えるのか、もしくは外部か
らの補充が必要なのか、聞
き取りをした上で進めてま
いりたい。

**マルシェの空きテナント
はどうするの**

Q 物産館マルシェの
空きテナントの問
題は、今までみたいなら
だらないで、弁護士と相
談して、民事訴訟なども考
えてやっていったほうがい
いのではないか。

A （村長）民事訴訟
等も踏まえた改善方
法をご提案いただいたが、
訴訟等は考えていない。

今、空きテナントがその
ままの状態が残っており、
この早急な改善着手は考え
ている。よもぎたアシスト
の専務と話し合い、可能であ
れば年度内、遅くとも新年
度には、刷新し利用者の利
便性を図りたいと考えてい
るが、具体的な予算、内容
等は検討中であるので答弁
は控えさせていただきます。

- 八戸村長の施策方針
1. 1次産業の基盤強化
 2. 教育の充実
 3. 人口減少対策
 4. 第三セクターの経営改善
 5. 高齢者福祉の充実
 6. 地域防災の強化
 7. 行財政改革

デジタル技術を活用した 基盤強化とは

（村）新たな技術で現場の課題を

解決する

Q デジタル技術を活
用した1次産業の
基盤強化とは、非常に漠然
とした表現で何も伝わって
くるものがない。施策方針
の中でもトマト栽培にデジ
タル技術をとということが
あったが、詳しい説明をお
願いたい。

A （高田産業振興課
長）「デジタル技術
を活用した1次産業の基盤
強化」とは、農林水産分野
における生産性向上や経営
改善を図るため、ICT・
IoTなどの新たな技術を取
り入れ、現場の課題解決
に結びつける取組を指して
いる。

生育状況をセンサー等で把
握し、データに基づく栽培
管理や漁場選定を行うス
マート農業・スマート水産
の推進、ドローンや自動走
行機械の導入による省力
化、デジタル化に対応した
流通・販売支援や人材育成
などが挙げられる。

これらの取組を通じ、生
産現場の高齢化・人手不足
への対応、作業負担の軽
減、品質の安定確保を図
り、持続可能な1次産業の
体制づくりを進めていくこ
とが、「基盤強化」の趣旨
となっている。

具体的には、作業状況や

どの程度の予算規模か

Q 簡単に言うと、環境制御ということだと思いますが、大変お金がかかります。さらに、一経営個体にある程度の投資をしなければ、成果を上げることが難しいと思う。

新年度予算に出てくるかもしれないが、どの程度の予算規模を考えているか。

A (村長) 予算規模については、新年度予算を今取りまとめているところなので答弁は控えさせていただきます。

私が想定するデジタル技術の活用とは、今後、労働力不足が見込まれる農漁業においての機械化や情報技術を用いて、少しでも作業効率が上がることと考えている。

県やほかの自治体が既に取り組んでいるものを検証し、私たちの地域に合致するか見定め、導入を検討したいと考えている。

先般、県の東青農林水産事務所長より説明をいただいたところでは、村内では既に県の補助事業を活用している農家の方もおり、令和5年度では物価高騰対策事業で4件、令和6年度スマート農業機械導入促進事業で3件の実績があった。

全て水稲生産者ではあるが、効果検証をしっかりと行って、活用できるものは引き続き県への要望も重ねながら、農家の方々の効率化を図ってまいりたいと考えている。

ほかにもトマトやタマネギなど高収益作物についても技術導入を図りたいと考えている。

村営住宅の具体的な構想は

(村長) 所得に左右されない住宅が必要

Q 村営住宅の確保は、私も就任当時から訴えてきたことなので、大いに賛同したいと考えていた。

しかし、施策方針では、庁舎建設などで大きな財政支出があったので民間の活力を取り入れたいとの説明だった。

村営住宅の確保を選挙公約に挙げていながら、民間に任せるのは公約違反ではないか。民間が建てたものを村営住宅と呼ぶことができるのか。

常に重要な案件と感じており、早急な対応が求められると考えている。

特に若い人向けや子育て世代が、所得に左右されることなく、安定して住める住宅が必要と考えるが、物価高騰の影響もある中で、公的にそれを建設することが効率的なのか、また民間事業者との連携方法などを庁内で検討を重ねていきたいと思っている。

手始めの取組として、住宅建設の最適地を選定し、そこで事業を行うための条件を整えることが必要だと考えている。

その後、宅地整備や団地、アパートがいろいろなか、集合住宅がいろいろなかを検討し、また、空き家の有効活用を優先すべきかなど、様々な観点から検討が必要と考えております。





にゅう い つよ ただ
乳 井 厳 公 議員

全文はこちら



粗大ゴミ回収 回数増やせないか

(村)検討する

Q 村内各家庭で発生した粗大ごみは、

村から「粗大ごみ収集手数料納付券」を購入、貼付し、2年に一度の回収日に回収されるが、村民からは毎年開催してもらいたいという声が多い。2年に一度の粗大ごみの回収は、毎年できないのか。

A (高谷健康福祉課長) 家庭系の粗大ごみの毎年の回収については、過去の実施状況や財政負担を検証し、住民の利便性を考慮しながら検討していきたい。

除雪出発地点は 2か所になるのか

(村)2か所から出発する

Q 除雪機械はもとの機械格納庫と、旧役場庁舎前の車庫にも保管されている。

今年度の除雪機械の出発地点は、2か所からということでしょうか。

A (高田建設課長) 今までの機械センターに入り切れていない4台を旧役場の車庫に格納して、出発もこの2か所からになる。

住民へ説明はされたのか

Q 旧格納庫の移設問題が出たのは近隣住民からの騒音に対する苦情などがあつたためだと記憶している。

近隣住民に対して、保管

A (建設課長) 現在、旧役場前の車庫は小学生のバス停にはなっていない。

また、機械の出入りの時間も小学生の登下校時間とは異なるので、問題ないと思っている。

もし重なることがある場合は、南側の出入口を使用する。

旧役場庁舎敷地は 除雪されるのか

Q 旧役場前のこの敷地は除雪されるのか。

A (建設課長) 車庫の出入りするのに必要な最低限しか除雪しない。

一般質問から制度の見直しへ

第3回定例会の一般質問を受け、修学奨励金制度が変わりました。

	【これまで】	【これから】
・貸与対象者	大学、短大、専門学校等	大学院を加える
・修学奨励金額	20,000円/月	20,000円、30,000円、40,000円から選択できる
・返還	半年払い、年払いから選択	月払い、半年払い、年払いから選択



全文はこちら



航空防除回数を増やし助成できないか

(村)要望があれば検討する

Q 航空防除は、出穂1週間前に実施される運用だった。

最近の温暖化の影響で出穂期が早まっているが、ヘリコプターの都合で穂ぞろい期に散布している状態である。

村独自で無人ヘリやドローンによる散布を追加できないかという声がある。
3回散布となった場合、農家の負担が増えてしまうので村で助成してもらえないか。

A (産業振興課長) 近年、気温上昇等の影響で生育が早まる傾向が見られ、従来のヘリコプターによる航空防除では、散布時期が適期より遅れがちになることは認識している。
無人ヘリコプターやド

ローンによる散布は、県外でも導入が進んでおり、適期での防除が行いやすいこと、作業の柔軟性が高いことから、有効な選択肢の1つである。

一方、散布方法を変更するには、安全基準の確認、オペレーターの確保、薬剤の適正散布の検証、農家負担など、整理すべき点多くあり、村としての補助の在り方についても検討が必要である。

補助金の交付先である蓬田地域病害虫防除実施協議会から提出された令和8年度計画では、例年どおりの散布回数2回で要望されている。病害虫防除実施協議会が主体となり、農家、農業共済組合、農協関係機関と協議・検討し、村への要望として進めていただくようお願いする。

カメムシ対策としても必要ではないか

Q 今年のカメムシの被害が非常に多く、これも防除の実施が遅いせいではないかと言われている。

また、ドローンや無人ヘリは大型の有人ヘリに比べコストが非常に高い。協議会から要望が上が

り、カメムシ対策として3回散布してほしいとなった場合、補助を検討していただけのの。

A (村長) 協議会や関係団体と意見がまとまり、村へ要望があれば真摯に検討していきたい。
この場でやる、やらないの答えは控えさせていた

役場職員に狩猟免許取得促進できないか

(村)積極的には考えていない

Q 今年には熊目撃情報

が異常である。危険な仕事であり、費用も非常に高額なので強制はできないが、住民の安全を守るため、役場の若い職員が狩猟の免許取得するための助成はできないか。

また、猟友会の会員数、年齢はどのようになっているか。

A (産業振興課長) 希望する職員の免許取得については、危険度、業務上の負担や職員の家族への負担などを加味し、慎重に判断しなければならぬため、現状では積極的に進めることは考えていない。
現在、蓬田村で狩猟免許取得に対応した助成制度は

ないが、青森県の狩猟免許等取得促進事業がある。取得したい者に対し、事前講習会等受講料への補助、免許取得後の銃猟等取得経費に対しても対象になる補助事業を実施している。

村としては、まずこの事業を積極的に活用していただけるよう農家組織や地域団体を通じた周知を強化していきたいと考えている。

蓬田村猟友会は、令和7年11月末現在で会員数が13名、年齢構成は、70代1名、60代1名、50代5名、40代2名、30代3名、20代1名となっている。



さかもと
坂本

ゆたか
豊 議員

牧場ソーラーパネル設置事業は どうなったのか

中学校の制服を 蓬田紳装で作れないか

(村)大きな進展はない

(村)新工程導入は難しい

Q 牧場へのソーラーパネルの設置という事業説明があつたが、その後どうなったのか。

村長はどう考えているか

A (産業振興課長) 先般、日本風力開発株式会社より、八戸村長就任に伴い、挨拶を兼ねた事業構想案の説明がなされた。

Q 八戸村長は、この牧場へのソーラーパネル設置については、どのように考えているのか。

A (産業振興課長) 先般、日本風力開発株式会社より、八戸村長就任に伴い、挨拶を兼ねた事業構想案の説明がなされた。

Q 八戸村長は、この牧場へのソーラーパネル設置については、どのように考えているのか。

また、瀬辺地区の住民に説明はされているのか。

A (産業振興課長) 地元住民への説明については、現時点での住民説明会はされていない。

A (産業振興課長) 今後の進行状況により、住民説明会の開催も適期予定されるものと考えている。

内容としては、これまでの経緯、計画の概要等であり、これまで議員の皆様にお知らせした内容と大きな変更・進展はない。

A (村長) 先般、日本風力開発株式会社より事業説明を受けたところである。事業者からは、現時点では環境アセス

メントや住民説明会も実施しており、事業内容を精査し、採算性も含めて慎重に進めながら、その都度、行政に相談していくという説明を受けている。

A (村長) 中学校の制服を蓬田紳装で製造する件について、制服の仕様に合わせて製造ラインを変更する必要も考えられる。

北海道の釧路湿原におけるメガソーラー開発の問題など、全国各地でいろいろソーラー発電の問題が指摘され、話が上がっており、これも認識している。

A (村長) 中学校の制服を蓬田紳装で製造する件について、制服の仕様に合わせて製造ラインを変更する必要も考えられる。

また、青森市内の学校制服に関しては、青森市教育委員会が判断し、決定することであるので、当村からの働きかけについても困難であると考えている。教育委員会制度の基本原則として、政治的中立性、教育行政の地方分権及び教育の民主化が求められており、その観点からも他市町村の行政からの介入はそぐわないと判断されるのでご理解いただきたい。

また、蓬田紳装で製造する件について、現在、蓬田紳装が

最近、中学生でもスーツの学生服が多くなっている。これを蓬田紳装で作って子供たちに提供する事業展開を

対応しているが、品質確保を含め様々な仕様を合わせるために非常に時間と労力を要しており、簡単に中学校の制服を導入することは難しいと考えている。

また、青森市内の学校制服に関しては、青森市教育委員会が判断し、決定することであるので、当村からの働きかけについても困難であると考えている。教育委員会制度の基本原則として、政治的中立性、教育行政の地方分権及び教育の民主化が求められており、その観点からも他市町村の行政からの介入はそぐわないと判断されるのでご理解いただきたい。

また、蓬田紳装で製造する件について、現在、蓬田紳装が



久慈省悟 議員

全文はこちら



緊急猟銃マニュアルはあるのか

(村)要望があれば検討する

Q 有害鳥獣捕獲を行う場合、環境大臣もしくは都道府県知事の許可が必要だったが、ガイドラインが見直され、令和7年9月1日から市町村長の判断によって銃器を用いて捕獲することが可能になった。

A 村では緊急銃猟のマニュアルはできているのか。

Q (産業振興課長) 現在は、まだ策定されていない。

11月25日に県主催の研修会において、県内全市町村へマニュアル案が示されたところである。それを受け、既に作業に取りかかっており、速やかに策定する。

Q 猟友会の日当はいくらか

Q 村の猟友会の日当は条例で定められていると思うがいかがでしょうか。

A (産業振興課長) 現在条例で、そういう日当については規定されていない。

猟友会と、これまで猿の追い払いや事業を実施しているが、村の猟友会へ委託費としてお願いしている。

日当は妥当な金額か

Q 熊となれば猿と違って命の危険が伴ってくる。

それなりの金額が本人たちに渡るような体制がつくられているのか。

A (産業振興課長) 去年今年においても猟友会にお願いし、目撃情報があった場合は現場に出向いてもらい、一緒に取り組んでいるが、対価はボランティア的な部分もあった。

なぜ熊出沒の際緊急放送できなかったのか

Q 11月7日、瀬辺地変電所通りに熊が出たということで、発見者と我々6分団の団長たちが近隣に被害を及ぼさないように、1軒1軒知らせて回ったと聞いている。

役場にすぐ電話で報告したが、セシモニ一中だという返事が返ってきた。なぜすぐに緊急放送をかけることができなかったのか。

A (産業振興課長) 初動時において、役場への連絡に対し「セシモニ一中である」との趣旨の回答があったとの話を伺っている。まずは住民の皆様にご心配をおかけしたることについて遺憾に思っている。

また、役場行事やセシモニの実施中であっても、緊急連絡体制は途切れることがあってはならず、担当職員が即応できる体制を確実に維持する必要があると考えている。

しかしながら、緊急時担当課では電話対応、情報の整理、現場への出勤態勢等、限られた人員の中で対応しなければならぬ。

緊急放送においても、錯綜する情報を整理した上で行うべきであるため、一定程度の時間は要するものと考えらる。

今回のことを踏まえ、熊目撃情報が入った場合は、担当職員を現場へ向かわせる際、総務課消防防災担当

も広報車で同時に向かわせ、近隣住民の安全確保を行うこととし、庁内での連携を申し合せたところである。

住民の皆様の安全を守ることが何よりも重要であり、今回いただいた指摘を踏まえ、より迅速かつ確実な対応ができるよう体制づくりに取り組んでいく。

※第3回定例会一般質問中で発言された赤さび発生時の水道料金は、前の月3ヶ月の平均使用水量10㎡、赤さびが発生した月の使用水量15㎡とした場合、15㎡-10㎡=5㎡が減免されます。

よもぎたアシストへの 委託事業について

(村)総合的に判断したい

Q コロナというパンデミックで様々な企業が、様々なところで事業継続ができなかった。

村第三セクターのよもぎたアシストも同様で、赤字を今まで委託料の引上げ等の施策でカバーしてきたというのも否めない。

しかし、赤字事業ばかり委託されているため黒字化することは厳しく、根本から委託事業を見直すべきだと思いがぶつが。

A (村長) よもぎたアシストの業務委託に関して、よもぎたアシストが経営判断を行い、指定管理の応募をする際には、黒字経営の試算を行っているので、行政側は、当初より赤字を見込んでの業

務委託は行っていないと判断している。

また、新型コロナウイルス以降の経営の落ち込みに関しても、助成金を出す際に経営の見込みをよもぎたアシストが自ら提出して、採算の見込める経営展開が可能との試算に基づき行政側で判断を行ってきた。

ただし、現実には、集客力の低下や物価高騰による営業経費がかさんであり、経営が困難であることも事実である。

事業内容を見直す時期にあると思う、温泉事業のみならず、マルシェよもぎたにおける物産販売事業やカントリーパークの管理業務も併せて総合的に判断していきたい。

住民や利用者、観光面で

の影響も多大にあることも考慮して判断していきたい。

有識者を交えて組織づくりできないか

Q 本来であれば、アシスト自体、自主事業など企業努力をしながら赤字を解消に向けて取り組んでいかなければならないと思っている。しかし、黒字で使える資金があつてこそ可能になる。

私と一致しているところは、有識者を交えてとか、村長は助言をいただきたいながらと言っておられる点である。少しでも経営改善に向けて方向性を一致させていけたらと考えている。

雇用の促進の場所だとか、住民サービスの一環である健康福祉の増進施設だからといって、膨らんでいく委託料が簡単に見過ごせない時代に入っていると思っています。

有識者を交えた組織づくり

りをして、こういう体制を打開していかなくてはならないのではないかと。

A

(村長) 本来であれば、企業の経営努力で改善すべきと考えているが、現状の環境を見ると、既存人員だけの改善はなかなか困難であると判断するが、経営に関する知識がある方から、専門的知見での助言をいただくと考えている。

もう少し検討しながら県にも働きかけを行いたい。

久慈議員の視点

早急に鳥獣害対策の方向性が示されれば、村民の暮らしの中に大きな安心がうまれる。体制づくりの整備も含め、村民の命を守ることを念頭に置いた体制のマニュアル化を進め、安心・安全を確保してほしい。

第三セクターの運営についても、ただ人員削減すればいいというものではない。当初の設立した目的というのを見失わず、その方向性にしっかりと取り組んでいけたらと考えている。



かき ざき ゆう じ
柿 崎 裕 二 議員

全文はこちら



旧役場庁舎解体の予定はあるのか

(村)令和9年度解体予定

Q 旧庁舎から完全移
行したが、旧庁舎
は解体するのか、いつ頃の
予定なのか示してほしいと
の声を村民から上がってい
るが、今後の計画はどう
なっているのか。

A (稲葉総務課長)
令和8年度で旧庁
舎解体工事の調査設計業務
委託を行い、令和9年度で
旧庁舎解体工事を行う予定
で考えている。

解体費用はいくらか

Q 近年、物価高高騰
により、一般住宅
でも産業廃棄物として一坪
当たり5万円から6万円ほ
ど解体費用がかかると聞い
ている。
旧庁舎解体にはどの程度
の予算がかかるのか。

A (総務課長) ス
クールバスが入っ
ていた車庫を除いた庁舎
棟、焼却炉、駐輪場、地震
計、油圧タンク、ATM、
小さい車庫の解体が、調査
及び設計前の概算額は、7
200万円ほど必要だと見
込んでいる。

解体後は どう活用するのか

Q 先日、本会議と同
じ形式で中学校議
会が初めて開催された。子
供たちに議会を経験してい
ただき、真剣に取り組み、
大人顔負けの鋭い視点の質
問がたくさん出て感心して
いるところである。

その中で、中学生からも
質問があったが、役場旧庁
舎を解体した後の利用、ま
たは活用方法についてど
う考えているか。

A (総務課長) 旧役
場庁舎の解体後の
跡地の活用については、
スクールバスが入っていた
車庫を残す以外、決まっ
ていない。

中学生議会で中学生から
提案があったバスケット
ボールやテニスのコート、
モルック競技ができる屋外
施設の建設が可能かどうか
も含めて、旧庁舎の跡地の
利活用を今後検討してい
きたいと思っている。

中央公民館、水産物処理 加工施設は解体するのか

(村)公民館は令和10年度解体予定

Q 中央公民館、蓬田
村水産処理加工施
設の老朽化に伴い、取扱い
をどのように考えている
のか。特に、蓬田村水産
物処理加工施設は手直し
すれば使えるような施設に
見えるが、解体するのか、
リフォームして活用する
のか。

また、平成12年の建築基
準法改正に照らした場合、
専門業者からも既存不適格
建物であるとの評価を受け
ている。

これらの状況を踏まえ、
担当課としては解体を含む
抜本的な対応や、他の活用
の可能性など、複数の選
択肢について検討を進めて
いかなければならないと
思っているところです。

A (八木澤教育課
長) 蓬田村中央公
民館については、令和9年
度に調査設計業務委託を行
い、令和10年度に解体予定
となっている。

今後、協議・検討の上
で、最も適切な方針を取り
まとめ、議員の皆様にもお
示していきたいと考えて
いる。

A (産業振興課長)
蓬田村水産物処理
加工施設ですが、建設から
36年が経過しており、老朽
化が著しい状態にある。



蓬田村中学生議会 一般質問

11月21日に初開催された蓬田村中学生議会では、蓬田中学校の3年生が、蓬田村の課題、未来について中学生の視点から疑問・提案を行いました。



議長を務めた中島 ^{ゆず} 柚さんと ^{あいる} 中村愛溜さん





阿保 慧太郎 議員 (右)
中村 明 瑠 議員 (中央)
工藤 海 統 議員 (左)

信号機を設置できないか

問 新庁舎につながる道路に歩行者用の信号機をつけるべきだと思つのですが、どうでしょうか。

答 (稲葉総務課長) 歩行者用の信号機を含む信号機の設置は、新庁舎建設前に、青森県警察本外部外ヶ浜警察署、役場担当者で協議を行つていきます。現状の280号バイパスの交通量では、設置基準を満たしていません。新庁舎が完成しましたので、交通量調査を行い、再度要望していきます。

信号機設置の基準とは

問 信号機の設置に必要な交通量の基準とは、具体的にどのくらいでしょうか。

また、現在の庁舎付近の交通量はどのくらいあるのでしょうか。

答 (総務課長) 警察庁の信号機設置の指針では、全てに該当しなければならぬ必要条件が5つ、どれかに該当しなければならぬ。折一条件が4つあります。必要条件の1つ目は、赤信号で停止している自動車等の側方を自動車等が安全に擦れ違うために必要な車道の幅員の確保。

2つ目は、歩行者が安全に横断待ちをするために必要な滞留場所の確保。
3つ目は、主道路の自動車等往復交通量が最大となる1時間、主道路の自動車等往復交通量が原則300台以上。
4つ目は、隣接する信号機との距離が原則150m以上。

5つ目は、交通の安全と円滑に支障を及ぼさず、かつ、自動車等の運転者及び歩行者が信号灯器を良好に視認できるように信号柱を設置できることです。
令和3年度全国道路街路交通情報調査では、朝7時台の青森市方面へ向かう自動車等交通量は320台、外ヶ浜町方向へ向かう自動車等交通量は、390台となっています。

意見 信号機を設置するの基準があることが分かりました。信号機の設置の検討をお願いします。



阿保 凛太郎 議員 (右)
川崎 ひじり 議員 (中央)
工藤 琉 伊 議員 (左)

陸上競技場を改善できないか

問 村の陸上競技場は、水はげが悪く、晴れていても練習ができず困ったことがあります。トラックをタータンに変更するなどの設備の改善をお願いできないでしょうか。

答 (八木澤教育課長) タータンに改修するには、約2億7000万円を超える改修工事が必要で、また、消防の観閲式の消防車や、ドクターヘリが来た際の救急車の出入り等もあるため総合的、計画的に検討していくことが必要と

スポーツイベントを開催できないか

問 施設の改善は部活動や学校行事だけではなく、スポーツに関するイベントにも活用でき、村民の健康増進に役立つのではないかと考えました。

また、村外から人を招くことで、村の活性化にもつながると思います。施設の改善案として検討していることはありますか。
答 (教育課長) 具体的な改善案は検討していませんが、現在のグラウンドは全

なってくると思われま

意見 陸上施設の強化をすることで、スポーツに関するイベントができます。例えば、村内一周マラソンで、休憩地点を各場所につくり、そこで蓬田の特産品を振る舞つことで、蓬田のよさを知ってもらうことができます。それを定期的に開催することで、青森県の課題である運動不足を解消することができま

く使えないというわけではありません。ただ、水はげの悪さに関しては、実際に専門的な調査をしていかないと原因が分からないため、今後の課題となってくると思われ

ます。村民の健康増進、体力向上の屋外施設として利用促進に努めます。

す。ぜひともこのようなイベントの開催の検討をお願いします。



議員 (右) 越田 凌^{りょう} 駕^が香^かと大^と
議員 (中央) 磯部 凛^{りん}
議員 (左) 広田 理^り

どのような少子高齢化対策事業があるのか

問 村の出生者は1桁であり、若者が減少する一方であるとし、危機感を覚えまして、少子高齢化の対策として、育児支援などがあるそうですが、村ではどのような対策があるのですか。

答 (高谷健康福祉課長) 令和2年度以降村の出生数は1桁、高齢化率は40%を超えている状況にあります。村の主な子育て支援として、子育て世帯祝い金給付事業、保育料、副食費無償化事業、物価高騰対策入学

準備金の支給、学校給食費無償化事業、高等学校入学祝い金支給などのほか、医療費助成事業やインフルエンザ予防接種費用の助成などを実施しています。

大雪の場合の対策は

問 近年は大雪の問題もあり、村でも除雪が間に合わず道幅が狭くなる危険な場所もありました。除雪車を多く稼働させたり、屋根雪の除雪の手伝いをしたりするなどの対策が必要だと思えますが、村ではどのような対策を行っていますか。

答 (高田建設課長) 村で

は、除雪車を9台持っていて、毎回全ての除雪車で除雪を行っています。道幅の狭い道路から海や山の道路まで全ての生活道路を毎回除雪していて、周りの市町村と比べても丁寧な除雪ができています。限られた台数、人員ではありますが、できるだけ皆さんの要望にこたえるよう努めます。

答 (総務課長) 積雪が80センチを超えると豪雪警戒連絡会議、1mを超えると降雪対策本部を設置して、苦情、相談等には各課で連携をとり対応しています。ひとり暮らしの高齢者からお願いされた場合は、役場と社会福祉協議会が協力して除雪しています。

意見 たくさんのお困り事を解決しないといけないので、僕たちもできることなら、全力で協力していきたいです。

冬期間スクールバスを利用できないか

問 自転車通学に40分かかりとても大変です。瀬辺地周辺の人たちも同じ思いだと思います。中学生は冬の期間だけスクールバスを利用することができませんが、冬以外の季節でもスクールバスを利用することはできないのでしょうか。

答 (総務課長) 現在村では、12月頃からスクールバスで中学生を学校から各バス停まで送っています。通年スクールバスで送迎するためには、運転手の確保、スクールバスの購入、車庫



議員 (右) 川内 元^が 玖^く道^と剛^{ごう}
議員 (中央) 船橋 凛^{りん}
議員 (左) 稲葉 永^{えい}

の建設などといった問題を解決していかねばなりません。また、スクールバス運行業務を委託することも考えられます。事業費を調査して、検討していきます。

小学校のスクールバスを共用できないか

問 新しいバスの購入や、運転手の確保が難しいけれど、現在小学生が利用しているスクールバスを共同で利用することはできないでしょうか。距離が遠い人など、本当に必要な人だけの利用でも構いません。送迎する保護者の負担を軽減することができると思います。

答 (総務課長) 現在の中学校生徒数58名、小学校生徒数100名が学校に通学しています。スクールバス1台の運転手を除く乗車定員は補助席を入れて55人で、2台で110人を朝学校へ送ることができます。小中学生が、徒歩で学校に通学していると思われる生徒は21名で、それを除くと137名がバスを利用することになります。

意見 現在全国的にバスドライバーの人口が減ってきているので、蓬田村でのバスドライバーの募集を検討をお願いします。



議員 (右) 大宮 悠樹
議員 (中央) 今 春樹
議員 (左) 山 館 咲

企業誘致の取り組みはあるか

問 私たちのような若い世代が今後も村に定着していくためには、魅力的な職場が必要だと思います。企業の誘致など雇用を増やしていくという取り組みはありますか。

答 (総務課長) 誘致企業の株式会社蓬田紳装が工場を増設し雇用拡大を図ったことで、約140名の従業員が働いています。

企業誘致の促進については、関係機関と連携のもと企業情報の収集を図り、広

報宣伝活動を強化し、誘致活動を促進していきます。

担い手・人手不足対策の取り組みはあるか

問 1年生の漁業体験や村内職場訪問の活動を通して、蓬田村の漁業や坂本養鶏さんなどの魅力的な職場について学びましたが、そのような職場のアピールも大切だと思います。

蓬田村では漁業や農業などの一次産業で働いている人が多いと思うのですが、若い世代が事業を継承したり、働き手を増やして盛り上げたりするための取り組みはありますか。

今後は、農漁業者の若い後継者から話を聞き、生きがいと魅力を感じて経営ができるよう、関係機関と協議して検討してまいります。

意見 これからの蓬田村に若い世代が残るためには、今ある様々な職場のアプローチがもっと必要だと思います。

答 (総務課長) 現在村では、農漁業者に新規就農者支援事業、圃場整備支援事業、漁港施設機能強化支援事業、農業用ハウス等導入支援事業、振興野菜苗代支援事業などを行いながら、未来を見据えた基幹産業として農漁業の振興に取り組んでいます。

イベントを増やせないか

問 村民祭のような村のイベントをもっと増やし、村外の人を呼び込むことで、村の盛り上がりや発展につながると思います。イベントを増やしたり、村を発展させたりするために何か考えはありますか。

答 (八戸村長) 村で村内外にかかわらず様々な人が集まり、盛り上げるようなイベントを開きたいと考えています。住民や皆さんの声を聞き、検討を重ね、村の発展に効果的なものを行いたいと考えています。



議員 (右) 中川 慶人
議員 (中央) 伊藤 陸
議員 (左) 乳井 海智

SNSを活用してはどうか

問 先日新庁舎で行われた、秋フェスのことを知らなかった中学生が多かったと思います。せっかくイベントが行われていても、参加する人が少なければもったいない気がします。私たち若い世代はSNSを利用することが多いので、SNSを使って、イベントが始まることを伝えたり、SNSを使って、イベントの様子を発信していったりすることで多くの人に情報が伝わると思っています。SNSを利用した広報活動にも力を入れていくのはどうでしょうか。

答 (村長) 村ホームページ及び公式Xにて情報発信はしていましたが、情報を公開した日が若干遅かったため、目にする機会を逃したのかもかもしれません。今後はもっと効果的な、そして時間に余裕を持った対応をして、様々な人に届く広報活動を行いたいと考えております。

意見 玉松海水浴場の海まつりと同時に夏フェスを開き、先日の秋フェスのように、アイドルやキッチンカーに来てもらうことで、村外からも人を呼び込み、私たち中学生が何か発表することで村の発展につながると思います。また、蓬田村の特産物を売るなどして、蓬田村について知ってもらえばいいと思います。



議員 (右) 柚星 議員 (中) 吉田 議員 (左) 中島 悠大 藤大

**冬期間スクールバスを
利用できないか**

問 中学生は登下校の際徒歩や自転車を利用する人がほとんどですが、通学路でとても暗いところがありま

答 (総務課長) 防犯灯は、夜間における村民の安全及び犯罪被害の未然防止を図るために設置しており

ます。議員が言われた道路区間については、調査して検討してまいります。

**どのくらいの費用が
かかるのか**

問 街灯を設置していくとなると、実際にどれくらいの費用がかかるのでしょうか。また、調査とありましたが、どのような調査が行われるのでしょうか。

答 もし街灯の設置が難しいということであれば、別の質問にもあったように、中学生も小学生と一緒にスクールバスを利用させてほしいです。

答 (総務課長) 防犯灯の設置については、大きく分けて二つの設置方法があります。柱を新しく建てて設置する場合の工事費はおよそ20万円、既存の電柱に取り付ける場合の工事費はおよそ10万円ほどかかります。

問 調査については、現在ついている防犯灯がどこにどのよう設置されているか確認すること、新しく防犯灯をつけるとしたら何基必要なのか、また、設置する場所は誰の土地なのかを調べることになります。

意見 最近暗くなるのが早くて怖いので、検討をお願いします。

旧庁舎跡地の活用案はあるのか

問 今年新しい庁舎ができ、前の役場の跡地がどのように使われるのか気になってます。何か有効活用する案はあるのでしょうか。

答 (総務課長) 現在、旧庁舎の跡地を何に活用するかは決まっておりません。今後は解体工事を進めるとともに、跡地の有効利用についても検討してまいります。



議員 (右) 伊里 議員 (左) 佐藤 明 山下 倅

スポーツ施設はどうか

問 まだ活用方法が決まってないということでしたので提案します。

答 (総務課長) バスケッ

答 (総務課長) バスケッ

講評

村議会議長 小鹿重一

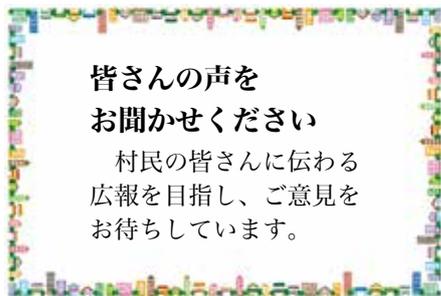
質問の内容は非常に具体的で、通学、部活動に関することや、交通安全、イベント、旧庁舎の跡地利用等の問題が取上げられ、様々な角度から物事を見ているなと感じました。

特に少子高齢化に危機感を感じていること、また、企業誘致による魅力的な職場が必要だということについてはよく勉強しているなと思いました。

これから高校、大学と、それぞれの道を進んでいくわけですが、政治への関心を持っていただき、自分たちのふるさと蓬田村を忘れることなく成長していただく。

議員の主な活動

11月17日	知事を囲む行政懇談会・意見交換会
11月21日	例月集会 蓬田村中学生議会
11月26日	議会運営委員会
11月28日	第3回臨時会 東津軽郡町村長東津軽郡議長会情報交換会
12月2日	例月出納検査
12月3～5日	第4回定例会
12月19日	第4回臨時会 例月集会 ホタテガイ状況調査 東津軽郡議会事務局研修
12月23日	水稻病害虫防除事業検討会
1月5日	青森市建築組合第18蓬田支部通常総会
1月6日	例月出納検査
1月21日	第1回臨時会 例月集会 広報編集委員会
1月30日	東津軽郡議長会 役員・事務局長会議
1月31日	国民スポーツ大会冬季大会 スケート・アイスホッケー競技会開始式
2月1日	出初式
2月3日	例月出納検査
2月4日	七戸町議会庁舎視察受け入れ



皆さんの声をお聞かせください

村民の皆さんに伝わる
広報を目指し、ご意見をお待ちしています。

青森県蓬田村議会 広報編集委員会

委員長：坂本 豊
副委員長：川崎憲二
委員：吉田 勉
委員：乳井厳公
電話 0174-27-2111

令和八年年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、村議会の諸活動につきまして、格別のご理解とご支援を賜りましたことに深く感謝を申し上げます。

昨年は、青森県東方沖地震など全国各地で地震

や豪雨などの災害があり、あらためて防災・減災の重要性を認識した一年となりました。

また、国においては、日本史上初の女性総理大臣の誕生が社会の変化と新たな時代の幕開けとなる出来事や村では陸奥湾の記録的な高水温によるホタテ貝のへい死は災害級の被害となり厳しい状況

況となっております。

そのような中、新しい庁舎の開庁を機に議場を使い「中学生議会」を開催して

未来を担う児童・生徒の素直な声に耳を傾ける中で、私たち自身も多くの気づきと感動を得るなど明るい話題もありました。

議会といたしましては、村民の皆様により寄り添った存在でなければなりません。自然災害に対応した防災・減災対策、急速に

進む人口減少と少子高齢化に対応した福祉・医療

サービスの充実など時代の変革を的確に捉え、村政の最終決定機関として、また、主権者である村民の皆様により代わり執行機関を監視・評価し、

しっかりと責任を果たして参ります。二元代表制の一躍を担う議会がその機能を十分に発揮し、皆様の声を村政に適切に反映させていきます。



蓬田村議会
議長 小鹿 重一

議員一丸となって期待に応えるべく、最大限の努力を傾注してまいりますので、更なるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

編集後記

1月になり、雪が降ってきた。雪が降るのを待っている人たちがいるのだ。雪が少なくて雪片付けがいらす喜ばしい一方で困る人達もいる。バランスが大

力が強い軍事力が支配する世の中に逆戻りを始めてしまった。再び植民地主義のような時代に逆戻りを始めてしまい恐ろしい。

コメ騒動を心配する農家、海水温上昇でホタテのへい死が心配な漁業。いずれも村の基幹産業が根幹から壊れていきそうで怖い。気候変動が原因だとすればそれを防ぐ対策が求められる。再生エネルギーを少しずつ利用していくしかない。自然エネルギーは環境を破壊しないように身近なところから取るよう行政の援助が欲しい。(ゆたか)